



2007年6月 第5号

【事務所】

〒302-0026

取手市稲 107-7

TEL/FAX 050-1208-8635

メール npo_ikiru@ybb.ne.jp

http://www7a.biglobe.ne.jp/~npoikiru/

ご挨拶

染野 和成

去る5月13日（日）福祉交流センター内、多目的ホールにおいて午後1時30分より「活きる平成19年度年次総会」が開催されました。最初に来賓として取手市長 藤井信吾様、社会福祉協議会事務局長 長塚 治様、市民活動支援課 吉田 雅弘様よりご挨拶を頂きました。

続いて各理事より昨年度の決算、事業報告に続いて、今年度の予算、事業計画が報告され出席者の承認を得られました。

昨年春からは移送サービスを始められることができ、更にはパソコンの使えるメンバーが行っている印刷業、今年度からは別項にも記されていると思いますが、ユニバーサルデザイン食器の販売、生鮮食品の販売も始めていきたいと考えております。いずれも私たち在宅障害者とその家族の支援に繋がっていきます。

日々の生活と介護に追われ、出来る能力が存在していながら仕事に、そして就職が難しい障害者とその家族。その人たちに1日の何時間でもいいから、家庭から安心して離れられる環境を目指し、少しでもいいから仕事が出来ると喜びを皆で分かち合いたいと考えます。

また、どうしても仕事に就くのが難しい人たち、日々の介護に追われている人たちに対しても少しでも息抜きが出来る環境を作るためにレクリエーションを通じて考えます。

2ヶ月に1度行われるリハビリスポーツ、年1回電車に乗っての日帰り小旅行、そして生で聴いて楽しむコンサート。これらのイベントの充実も推し進めていかななくてはなりません。

これらのイベントはこれから入会していただく人たち、不特定多数の人たちにも広く告知をし、「活きる」を深く知ってもらう役目を負っているとも考えております。

欲張りなことばかりを書き連ねてきましたが、この事業やイベントを行うにはたくさんの人たちの協力を得なくてはなりません。移送サービス事務のスタッフ、活きる本来活動の事務局スタッフ、ともに手一杯であり、今年度は協力して頂ける方々に「関わるのは大変だけど、何か魅力ある」と思って下さるような会を目指していきたいと思っております。今年度もよろしく願いいたします



ご存知ですか？

健康保険で在宅マッサージが受けられます！

お問い合わせ、ご相談などお気軽にご連絡ください。

オリエンタル治療院

〒301-0041 茨城県龍ヶ崎市若柴町 2183-9 TEL 0297-65-0985 FAX 0297-65-3323

1 移送サービス事業

平成18年4月より開始した有償福祉移送サービスは、順調に伸びてまいりました。平成19年3月末現在で利用者登録は130人あまりに達し、また1ヶ月の利用件数も400件（片道を1件とする）近く有ります。その活動成果に24時間テレビから福祉車両の贈呈もありました。ボランティアさんの優しい対応に利用者の方々から感謝の言葉も多いです。しかし、運転協力ボランティアはあまり増えず、ご利用者にはご不便をおかけすることも有り、また、協力していただいているボランティアさんには大変な負担を強いている状態です。そして、経済的に困難な方にも利用し易いように利用料金を低くしているため収益を得ることが出来ません。無給で活動している運営者にも大きな負担を強いています。今後、運営持続のためには、市や地域の方々の支援が必要です。（宮脇 貞夫）



2. 取手市観光バリアフリーマップを刊行しました。

昨年度、市内の観光地へ障害を持つ立場から調査し、1冊の小冊子にまとめる事業を行いました。

この事業は「取手市地域まちづくり支援事業」に企画を提出し、審査のうえ認められ、調査費、製作費のうち半額を市から補助して頂きました。

活きる会員以外の他団体からの人たちにも調査の段階から加わって頂き、企画提出から1年間かけて製作しました。よろしければ「活きる」事務所にお立ち寄りの際、ご覧になって頂きたいと思います。（染野 和成）

3. 笠間焼 UD（ユニバーサルデザイン）食器の開発、普及、販売事業

茨城県工業技術センター・窯業指導所のUD開発チームのKDSに参加し、当事者の立場として開発に協力することになりました。

そして、チームKDSから提供していただいた食器を、食べる動作に困っている方に知ってもらための普及活動と、障害者の就労の場の確保のために販売事業を開始しました。

（宮脇 貞夫）



NPO 法人 活きる 移送サービス

しくべん

ボランティア・ドライバー大募集！！！！

TEL 050-1208-8635

茨城県取手市稲 107-7

＜市民活動支援活動＞

NPO法人活きるでは地域の方々が市民活動に参加するためのきっかけ作りや、ボランティアに興味を持ってもらうための活動をしています。

平成19年度が間もなく始まるこの時期にいくつかの講習会を開催し、イベントに参加しました。

1. セカンドステージに挑戦する男たちの講座

藤代のふじしろ福祉の会（理事長：遠藤俊夫）、藤代おやじの会と共催で、定年時期にある団塊の世代の男性をターゲットに、第2の人生を考えてもらうための講座を2月から4月にかけて全6回の講座を開催しています。会社勤めをしている間は、自宅と会社の間を行き来するだけでなかなか地域に目を向ける機会が少ないと思います。そこで、地域のことを知り、新しい生きがいを見つけるために取手の歴史の講座や史跡見学、男の料理講座、大企業の工場見学、受講生どおしの懇親会、そして市民活動に興味を持ってもらうためにいくつかの団体が活動内容を聞いてもらいました。



2. 市民活動支援フォーラム

「おとうさんの地域デビュー～市民・地域活動へのきっかけづくり～」(取手市市民活動支援課主催)

2月17日に市民活動や地域活動を始めたいと考えている団塊の世代の方や新たな担い手とを考えている団体のみなさんを対象とした市民活動支援フォーラムが開催されました。

最初にNPO法人笑顔せたがや事務局長の山崎富一さんの市民・地域活動へのきっかけづくりの講演がありました。多くの町おこし活動の経験がありその成果を話してくださいました。また、市民活動に参加しやすい環境を作る大切さを強調されました。

その後取手地域の中での市民活動について、パネルディスカッションが行われました。

市内で市民活動や地域活動に取り組んでいる方に活動の現状や今後の展開についての意見交換やこれから活動に取り組みたいと思っている方々へのメッセージなどをパネリストのNPO法人取手ぶるく、NPO法人環境NPOとりでの代表の方とそしてNPO法人活きるの宮脇とともに進められました。来場の方々に「活きる」の活動内容の報告やボランティアが不足している現状を話し、協力依頼をしました。

3. 障害者支援ボランティア講座

取手市社会福祉協議会の主催で全3回でボランティア講座が開かれました。そのうちの第2回目(3月

12日)の講座をNPO法人活きるの宮脇が担当することになりました。

約18名の参加者を前に、宮脇とその妻の満理子が自己紹介のあと、宮脇がボランティア活動にはいったきっかけとして、満理子の病気と闘病、そして在宅介護の経験、リハビリ、インターネットでの交流、そして地域社会への参加デビューまでを紹介しました。

そして、障害者と介助者の関係をそれぞれの立場から話し、良い関係を作るための参考としてもらいました。

10分の休憩の後、宮脇が在宅介護で得た介助技術に参加者に見てもらいそして経験してもらいました。基本的に在宅介護では一人で介護しなければ行けない場面が多く、それなりに工夫が必要です。一般の介助技術講習では教えられていない、特殊技術や自分で考えた工夫を聞いてもらい、いざという時の参考になればありがたいです。

最後に、NPO法人活きるの活動を紹介し、ボランティア参加を要望しました。

(宮脇 貞夫)



1月 新年会 清水 宏一

久しぶりに、皆さんの顔を拝見できてうれしかったです。今年は春から縁起がいいやと感じ、体調のほうも何とか上昇しそうな気がしました。今年は、定例会、リハビリスポーツと積極的に参加していきたいと思いますので宜しくお願いいたします。昨年一年間、活動に参加できませんでしたので、初めてお会いする方もいらっしゃったので、どこかで自己紹介する場を作っていただけだと思います。

今年も会がさらに発展していくことを期待し、自分自身も発展していきたいと思ます。



3月 リハビリスポーツ

石田 麻美

私は3月25日に初めて参加しました。私は、「活きる」自体も間もなかったもので、最初はドキドキで、何も話をかけられませんでした。でも、テーブルテニスや風船バレーなど皆で1つのことをしているうち、徐々に溶け込めるようになりました。

私はこの日の体験を通し、自分自身に新たな発見をしました。私がこのように感じる事ができたのも、行事ならではだと思ます。

今後も、いろいろと参加し、自分を高められればと思うそんな一日でした。



5月 リハビリスポーツ

前田 忠彦

先日、初めてリハビリスポーツに、ボランティアとして参加させて頂きました。最初にリハビリスポーツと聞いて、抱いていたイメージは、リハビリという言葉にあるように、「スポーツといっても訓練とか練習に近いことをするのか」という感じでした。ところが、実際に参加してみるとそのようなことはなく、車椅子でのタイムトライアル・卓球・バレーボール等のスポーツを、皆で楽しめるように創意工夫して、皆で一緒に楽しんでいる。例えるならば、クラブ活動のような楽しいものでした。皆で笑ったり、時にはムキになったりして競技しているうちに、皆さんの動きがどんどんよくなっていくように見えました。このような楽しい時間を、多くの人たちで共有することが出来なかったかもしれませんが、最後に「お疲れ様でした」といった後の、皆さんの充実感にあふれた顔を思い出すと、皆さんにはとてもよい時間を過ごしてもらえたのかと思います。私もとてもよい時間を過ごす事ができました。ぜひ次回も参加させ

4月 ひとにやさしい器展・とりで

吉村 和子

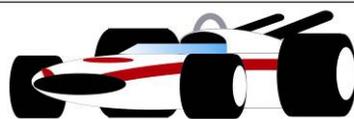
4月22日(日) 23日(月) 取手市福祉交流センターの多目的ホールで「ひとにやさしい器展・とりで」を開催しました。障害をお持ちの方々が食べやすい器を研究開発して下さっている笠間焼の作家さんのグループ(KDS)の手作りの器を展示しました。二日間で100人を越える市民の皆様に来場頂き、器を手にとって見て頂いたり実際に試して頂いたりして、焼き物の美しさや使い易さに大きな評価を頂きました。市の施設での開催ということもあり、当日販売することは出来ませんでした。配布しました器の販売カタログで今後購入される方々にとっては、大いに参考になったのではないかと思います。



活きる GP

Rd-1

鈴木 澄利

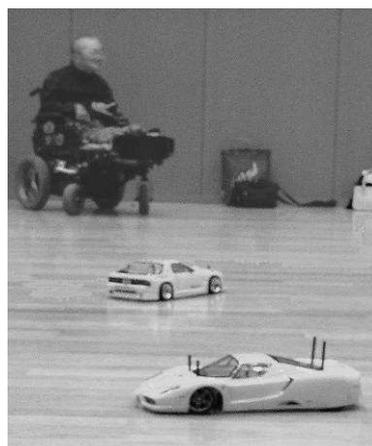
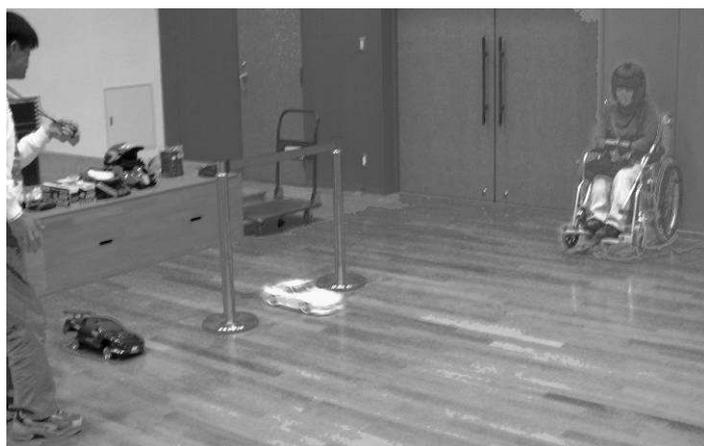


GRAND PRIX

2007年度「第1回活きるGP」は4月15日に開催された。

昨年と比べドライバーが若くなって、よりエネルギッシュになった。と、ともに今回は女性ドライバーが3人そろい華やかなスタートなった。第1回のコースは直角ターン2つ入れたコースとなった。わずか1時間たらずのレースだったが、各ドライバーは楽しんでいた。

さて、「活きるGP」を支えて頂いてくれている皆様には厚く御礼を申し上げます。昨年暮れに「茨城ヤナセ」様より帽子を寄付していただきました。活きる会員の協力で「活きるGP」のマークをつけ、秋の「活きるGP」開催時に会員の皆さんにくばる予定です。お楽しみにしてください。



5月 笠間視察

海老原 勉

5月16日、皆さんの心掛けが良かったのか良い天気の中、総勢16名で3台の車に分乗し笠間に行ってきました。

窯業指導所では、作業している様子も見られるのかなと思っていましたが、出来上がった作品が、ずらり展示されている所を見てきました。もちろん「やさしい器」もありました。

近くの工芸の丘では、たくさんの作品が売られていましたが、手に取って見る事が出来ず残念。でも丘の上は新緑がきれいで気持ち良かった。那珂湊での昼食、2時間遅れでしたが、本場の寿司をおいしく味わって満足でした。久しぶりの遠出。夜ぐっすり寝てしまいました。車で出かけるのもいいものです。



ありがとうの報告

社会福祉法人「茨城県共同募金会」様より、移送サービスの運営資金として 10万円 を頂きました。また、「オリエンタル治療院」様より移送サービスへのスポンサー料として 5万円を頂きました。初めての試みとして移送サービス中の車両の横に「協力・オリエンタル治療院」のマグネット式のステッカーを貼らせて頂きます。期間は6ヶ月です。

また、昨年24時間テレビから贈呈していただいた福祉車両は、その後移送サービスでフル稼働し、地域の外出支援に貢献しています。

今後、より充実した移送サービスを目指してがんばります。

ありがとうございました。

その他の寄付

●移送サービス運営のための寄付金

- 1) 移送サービス利用者の宮崎様より
- 2) 移送サービス利用者の鈴木様より
- 3) 移送サービス利用者の木村様より
- 4) 移送サービス利用者の茨木様より

●事務所運営のために

- 1) 大石様よりパソコン、掃除機、電子レンジ、湯沸し器

●バザーのために

- 1) 長島さんより手作り匂い袋多数
- 2) 永岡様、成島様、ほか多くの方から

●ラジコン GP 運営のために

- 1) 「茨城ヤナセ」様より、帽子、景品など
- 2) 石井様よりラジコン車、ジュース（1箱）



●平成19年度の事業計画

- 1) 福祉移送サービス
 運転協力者の確保が最重要課題で、より利用者のニーズに応えられるようにする。
- 2) UD(ユニバーサルデザイン)笠間焼の普及と販売
 障害者が働ける環境整備をし、販売システムを確立させる。
- 3) 印刷事業
 設備を増強し、本格的に印刷事業を開始する。
- 4) 食品販売
 外出困難な方に生鮮食品を提供する。
- 5) 相談業務
 在宅障害者の生活相談:生活の悩み、住環境整備の相談
 医療コーディネート:医療提供者と患者の橋渡しをします。

●平成19年度のイベント予定

定期開催

- 1) 月例定例会 毎月第一日曜日(6月は第2日曜日)
- 2) リハビリスポーツ 8/5、9/23、11/25、1/27、3/30
- 3) ラジコンGP(年4回) 次回9月予定

●特別イベント

- 1) 4月22、23日 やさしい器展・とりで
- 2) 5月13日(日) NPO法人活きる年次総会
- 3) 5月16日(水) 工芸の丘、窯業指導所見学会
- 4) 6月3日(日) 太陽の広場(障害者スポーツ大会)
- 5) 6月24日(日) 映画鑑賞会(SuperCross)
- 6) 8月5日(日) リハビリスポーツ(スイカ割り、バーベキュー大会)
- 7) 9月28日(金) 電車でGO 行き先は 日本科学未来館
- 8) 10月20日(土) 健康福祉祭り
- 9) 11月17日(土) ネットワークフェア
- 10) 12月2日or 9日(日) クリスマスコンサート



デザイン(チラシ・ロゴ)

一般印刷 チラシ その他

活きるプリント

〒302-0026
 取手市稲 107-7
 TEL/FAX 050-1208-8635
 メール npo_ikiru@ybb.ne.jp

やさしい器



介護食器の  NPO法人 活きる

<http://npoikuru.cart.fc2.com/>

デンクル日記

今回はデンクルを持っていっても使えない場面が想定されたので、手押しの車椅子を使ったことを予め断っておく。

先日、西伊豆へ初めてのダイビングを経験しに行った。明け方3時にヘルパーさんに来てもらい、起床介護を受け、4時にリフト付タクシー（ひばり介護タクシー tel090-1461-0422）に近くに住む友人と共に乗り込み、松戸へ向け出発。松戸からはダイビングショップMDA (tel047-347-1785)の車に社長ご夫妻、自分たち2人の4人が乗り伊豆へ向けて車をスタートさせる。途中サービスエリアで1回の休憩を取り、8時半には沼津市大瀬崎海岸に到着。早速30年振りの海パンに着替え、ウエットスーツを着込む。身体にぴったりしているので材質もあってなかなか着られなかったが、友人の力技？で何とか時間は掛かったが着ることが出来た。

シューズをはいて足ひれを付け、酸素は社長が背負っているボンベから分けてもらい、アキュアレーターを口にくわえ、鉛のおもりを腹部に巻きつけ、いよいよ海面へ。浅瀬がわりとあるところなので2人がかりで抱きかかえ、歩いて徐々に水へ入る。思った以上に冷たくて寒い。初めてのことなので緊張と身体の硬直で全身が棒のようになる。身体に力が入るせいか、水中で回りそうになるが社長と友人が両脇からしっかりと支えてくれる。

魚の名前はほとんど解らないが小さくて色鮮やかな魚を目にする。きれいだ。1本目は時間にしたら30分くらいだろうか、感覚的には長く感じた。あがると少し風があつて寒い。身体が震える。1時間くらい休憩した後、2本目を潜る。予め、寒いと感じているので短めに上げてくれと伝えていたが、余裕が出て周りを見られるようになった。夕方、7時過ぎには帰宅。新しい経験が出来たことをうれしく思った。

染野和成



編集後記

皆さんの協力が有りまして、今号も無事に発行に至りました。ほんの少しですがレイアウトを変えてみました。編集についてご意見が有りましたら、ぜひお聞かせ頂きたい。下記メールにてうけつけています。

編集担当 鈴木 澄利

NPO 法人活きる 窓 開けて

2007年6月15日発行

発行所 NPO 法人 活きる

発行者 染野和成

編集者 宮脇・染野・鈴木

連絡先 TEL/FAX 050-1208-8635

メール npo_ikiru@ybb.ne.jp

http://www7a.biglobe.ne.jp/~npoikiru/

活動会員・賛助会員を募集しています

一緒に NPO 活きるの活動に参加してみませんか
皆様のご参加をお待ちしています。

活動会員 個人・年会費 2,000円

団年・年会費 3,000円

賛助会員 個人・年会費 1口 1,000円 1口以上

団体・年会費 1口 2,000円 1口以上

(活動・賛助会員の総会議決権はありません)

銀行口座 中央労働金庫 取手支店

普通貯金 NO 6385476

郵便振込み 10650-41405021

どちらも口座名義は「特定非営利活動法人活きる」